

ねむろ 市議会 だより



NEMURO CITY COUNCIL NEWS

発行／根室市議会 根室市常盤町2の27 根室市議会事務局
TEL(0153)23-6111 FAX(0153)24-5820
E-mail : gikaijimukyoku@city.nemuro.hokkaido.jp

主な内容

12月定例月議会
「一般質問」8人 ②

12月定例月議会
会議日程及び質疑内容等 ⑦

議会活動・委員会活動・
トピックス ⑨

根室市議会からのお知らせ ⑩

議会まめ知識 ⑩

第47号

令和6年(2024)
2月1日



北方領土返還要求中央アピール行進（令和5年12月1日撮影）



初せり式（令和6年1月5日撮影）



根室市消防出初式（令和6年1月5日撮影）



根室市20歳のつどい（令和6年1月7日撮影）

12月定例月議会を開催しました

12月12日から15日にかけて12月定例月議会を開き、一般質問に8氏が登壇し、高齢者の事故防止対策や中心市街地の活性化、新廃棄物処理施設建設に関する諸問題、医療的ケア児等への支援など幅広く活発な議論が交わされました。

上程された議案は、78億4635万円を増額し総額を407億5616万4千円とする一般会計補正予算案（追加分含む）や手数料条例の一部を改正する条例、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例など議案25件で、全会一致で可決。意見書案は「食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書」など3件で、原案通り可決しました。

補正予算案では、原油価格や物価高騰による低所得者の負担軽減として住民税非課税世帯などに対する1世帯当たり7万円の支給や子育て支援として0歳から18歳まで一人あたり2万円の特別給付、人事院勧告に伴う職員給与費の増額などが盛り込まれています。



12月定例月議会
(令和5年12月12日～12月15日)

「一般質問」概要

12月定例月議会では8人が一般質問を行いました

※掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、市ホームページに掲載予定です。

一般質問

市政クラブ

中村 久 議員



高齢者の交通事故防止対策について

問 本年10月、釧路市において根室市民の高齢ドライバーによる2件3名が死亡する交通事故が発生した。高齢者人口の増加により、高齢ドライバーの交通事故は全国的に社会問題化しているが、地域にとって車は欠かすことができないものであり住民の足である。高齢者の足と事故防止のための各種対策が並行して講じられなければならない難題と思うが、現在根室市が行っている高齢者交通安全対策について伺う。

答 当市の高齢者に対する交通安全対策は、*「高齢者運転免許証自主返納奨励事業」、法令の高齢運転者運転免許更新時に道東の自然環境や交通事故に特化した「特別講習」のほか、釧路市の事故を受け、「ペダル踏み間違い防止運転支援装置の実地講習」や「ドライブシミュレーターによる体験講習」などを実施。市としては、高齢ドライバーによる事故を1件でも減らすため、関係機関、団体と連携を密に、高齢者への交通安全対策に取り組んでまいる。

問 今後交通事故の抑制を図るためにも、「アクセル・ブレーキの踏み間違い運転支援装置」の設置費用に対する補助制度の検討を願う。

答 「ペダル踏み間違い防止装置」の設置補助については、令和6年度からの実施に向け検討している。

ヒグマによる被害防止対策と今後の取り組みについて

問

今日のヒグマの出没状況や各地での人的被害、その他生活不安などを踏まえ、今後の更なる取り組みについて伺う。

答

国においては、クマ類の*「指定管理鳥獣」への追加、北海道においては「ヒグマ管理計画」の改定に向けた検討が進められている。当市においては「根室市鳥獣被害防止計画」及び「ヒグマ出没時の対応方針」によりヒグマ出没地域や行動形態などに応じた対策を講じながら、今後についても国及び北海道の動向を注視して、必要に応じて被害防止計画及び基本方針の改定を行うなど、被害防止対策の強化に努める。

一般質問

創 新

永洞 均 議員



新廃棄物処理施設建設に向けた諸問題について

問

9月14日の報告で、地域合意が破棄されたとある。今後の合意形成の進捗状況によっては、建設設計画に影響が出るものと考えるが？

答

本年2月、地域住民から反対意見があり、3月幌茂尻、温根沼両町会に再度事業説明を行った。その後8月、幌茂尻町会から建設同意の撤回、温根沼町会から事業説明の了解事項の取り下げの申し出があった。新施設の完成は令和10年3月末を予定していたが、説明継続による遅延、建設資材、人員の確保が厳しい状況で、6カ月までの範囲内で完成時期が遅れると想定。

問

建設に向けた最終判断は？

答

令和6年1月に予定されている令和6年度の交付金要望額調査並びに令和6年度の予算編成を期限に定め、その間継続して丁寧な説明を行う。

*根室市高齢者運転免許証自主返納奨励事業：満75歳以上で車の運転免許証を自ら返納した方に、運転歴証明書交付手数料の助成とハイヤー乗車券を支給し、移動手段を支援する制度。

*指定管理鳥獣：鳥獣保護法の改正により創設された制度で、集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして、環境大臣が定めた鳥獣（指定管理鳥獣）について、都道府県又は国が捕獲等をする事業（指定管理鳥獣捕獲等事業）を実施している。ヒグマ以外の指定管理鳥獣としてニホンジカ及びイノシシが指定されている。

北方領土返還運動について

問 東京アピール行進に中高生を派遣しては?

答 新宿西口で開催している「北方領土展」への派遣など、検討してまいる。

問 北対協融資の複数人継承は所得制限等で継承のハードルが高いとの指摘があるが?

答 「融資制度の充実」について千島連盟の意向も踏まえ、国等に対し要望してまいる。

問 「えとぴりか」で一般の方を対象に北方領土洋上視察しては?

答 啓発事業への活用について、関係機関と協議・連携をし推進に努める。



公共施設の冷房設備の設置について

問 今年の根室の夏の状況から、冷房設備の設置が強く望まれている。市所管、教育委員会所管の施設への設置の考えは?

答 保育所は来年の夏までの整備を目指す。市内全小中学校及び義務教育学校の保健室には、早期にエアコンを設置するよう教育委員会と協議を進めている。他の公共施設も早期の整備に向けて集中的に取り組んでまいる。

20歳の集いについて

問 外国籍対象者の参加が令和4年度はなかったが、令和5年度の対策は?

答 【教育長】対象となる40名を超える外国人青年を雇用する各社に、式典参加を勧めていただくようお願いした。

市民クラブ

一般質問

本田 俊治 議員



ふるさと納税について

問 令和4年度のふるさと納税は82万件、金額176億円、制度創設から15年累計で351万9千件、649億7千万円もの寄付金が寄せられている。現在、13の目的別基金が設置され、令和6年度末までに200億円の基金残高を目標として積立も行われているが、基金の本体ともいえる「根室市ふるさと応援基金」は、市長が必要と認める事業等も含め、その活用範囲が多岐に渡っている。この基金の活用使途を細分化・明確化し、将来に夢や希望が持てる事業、地域の財産である人を育てる事業への活用等「新たな目的基金」を創設し、寄付者にも、市民にも理解しやすい基金管理を検討すべきと考える。

答 基金の管理方針に掲げた令和6年度末200億円の基金残高確保を目標に着実な成果を積み上げていく。今後、次期総合計画や公共施設グランドデザイン構想を展開していく中で「まちの賑わいづくりのための拠点整備に関する基金」、公約に掲げている取り組みの財源対策として「(仮称)企業立地促進基金」や「(仮称)脱炭素化推進基金」なども含め、様々な意見をいただき検討をすすめ、根室市の創生に繋げたい。

中心市街地の空洞化問題への取り組みについて

問 10月31日賑わい創出の拠点として利用してきた「まちなかサロン恋問」が閉鎖され、今後、取り壊しが予定されている。中心市街地に数多くの空き空間が出来ており、恋問跡がさら地になることで、更に大きな空き地ができる。土地利用に関しては地権者の協力が不可欠だが、まちづくり、中心市街地の活性化・賑わい創出の観点から、早急な中心市街地の空洞化問題への対策、より具体的な利活用のためのア

イディアの取りまとめ作業が急務であり、危機感をもって、この問題の解決に取り組んでいただきたい。

答 中心市街地の活性化に関し、現状分析及び諸課題の把握、今後のまちづくりの総合的な調査・研究が根室市中心市街地活性化推進協議会の設置目的に含まれることから、所管する根室商工会議所や関係団体とともに、中心市街地の空洞化対策を検討する。

一般質問

無所属

西田 浩一 議員



若手職員による業務改善案の検討

問 新庁舎移転に合わせ、若手職員によるワーキンググループで業務改善案を検討してもらってはどうか。

答 これから長く新庁舎で勤務する若手職員が、柔軟で斬新な発想を積極的に意見することができ、その提案を取り入れることのできる環境づくりが重要であり、提案のあったワーキンググループの立ち上げも含め、職員の意欲や能力の向上につながる職場環境の構築に努めたい。



建設中の新庁舎

*インクルーシブ教育の進捗について

問 花咲港小学校でのインクルーシブ教育の進捗状況について伺う。

答

【教育長】児童の自己理解や自尊心、自己肯定感が高まり、他者を受容する共感性が広がるなど児童の発達に大きな効果がみられ、確かな手応えを感じている。これまでの取り組みを検証するため、国立特別支援教育総合研究所の「インクルーシブ教育システム構築のための地域支援事業」に応募しており、国の指導助言を仰ぎながら、確かな体制を確立したい。

中学校課程でのインクルーシブ教育

問

中学校課程でのインクルーシブ教育の考え方を伺う。

答

【教育長】中学校で異年齢の学習集団を形成することに対する違和感や自らが時間割を作成して進める学習で高校入試に対応できるのか、また、教科担任の確保の問題など大きな課題がある。しかしながら、小学校段階で身に付けた資質能力を中学校で引き継いでさらに発展させることは重要で、先に述べた国立特別支援教育総合研究所の支援を得ながら、様々な方法を検討していきたい。

一般質問

大 地

富川 歩 議員



町内会の現状と課題について

問

市内には多くの町内会があるが、町会員の減少に伴う町会加入率の低下、役員のなり手不足や高齢化などにより、町会運営を維持していくのが難しい状況にある。これらの状況をどう捉えているのか伺う。

答

市内の町会数は減少し、会員の減少と高齢化による担い手不足などから、町会運営に支障をきたしている状況にある。これまで転入者に対し町会への加入促進や町会交付金、資源回収奨励金等による活動支援をしている。町内会は防犯や高齢者の見守りなどの住民福祉の推進、災害における「自助」「共助」「互助」の役割を担うことを期待

※インクルーシブ教育：子どもたちの主体性を大切にしたり、障がいのある子とない子が共に学ぶなど、多様性を重視した保育・教育。

されており、誰もが住み慣れた地域に安心して暮らし続ける「支え合う地域社会の実現」のために、益々重要なものと考えている。

町内会館等の解体費用の補助について

問 町内会館はいずれ老朽化して解体しなければならないが、近年の解体費用の高騰により、町会の費用による解体は厳しい状況にあることから、補助金などの支援が必要と考えるが見解を伺う。

答 町内会が所有する町内会館は47施設あり、その80%の施設が築30年を経過する施設となっている。老朽化による町内会館の解体については、令和6年度に向けて「準公共施設工事等補助」に解体費用を補助対象として加える制度改正を検討している。

町内会館の移転等について

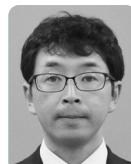
問 千島海溝沿いの巨大地震を想定し、被害想定の場所にある町内会館等を高台に移転したいという住民の声があるが、移転地の土地の確保などの状況について伺う。

答 千島海溝沿いの巨大地震に伴う津波の浸水想定区域内に所在する公共施設については、根室市津波防災地域づくり推進計画において、高台への移転や避難施設機能の付加を検討している。各町会等を訪問し、車避難ルールの策定と命を守るために避難の確立に向けた調査・検討を優先に取り組んでいるところで、避難所機能強化を含めた町内会館の高台移転について地域と協議してまいりたい。

一般質問

日本共産党根室市議会議員団

橋本 竜一 議員



水道事業や料金をめぐる課題について

問 水道料金の引き上げ幅を抑制するために一般会計から繰り入れている補助金が令和5年度で減額になる見込みのため、継続を求める。

答 市民生活や市中経済に大きな影響が及んでいる現時点で市民負担を求ることは大変厳しい状況。令和6年度も継続する必要がある。なお令和7年度以降は総合的に判断する。

問 低所得者の減免制度も令和5年度が期限であり今後の方向性を伺う。

答 減免制度が福祉施策とした性格を考慮すると、本制度を停止する場合には代替措置が必要と判断し、次の水道料金改定時まで継続する考え。

*「医療的ケア児」等への支援について

問 市内の訪問看護事業所から提案された「医療的ケア児等に関する施策充実を求める要望書」について、市として積極的に取り組んで頂きたい。

答 障がい者計画等に位置づけし、優先して必要とされた非常用電源等の日常生活用具に係る支給品目の追加等は令和6年度の実施に向け準備を進める。対応が難しい支援は根室市医療的ケア児等支援会議での議論も活用しながら検討したい。

子どもの近視が増加している

問 就学援助を受けている児童・生徒に対して、医師の診断のもと、市町村独自の制度として眼鏡の購入を補助する仕組みを検討して頂きたい。

答 【教育長】当市で眼科の受診率及び眼鏡使用率が低い要因は、経済的な理由ばかりではなく、眼科受診に対する様々な意識が影響していることも考えられ、養護教諭等との意見交流も行いながら研究したい。



*医療的ケア児：N I C U（新生児集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童。

一般質問

会派 紬(つむぎ)

須崎 和貴 議員



防災での多文化(外国人)対応は?

問

市内にはベトナム、インドネシアなどの外国人技能実習生が居住しており、地域防災計画に「外国人に対する対策」が位置付けられているが、現状の対応と今後の考え方を伺う。

答

外国人実習生には防災講座を実施しており、英語とベトナム語に対応したウェブ版のハザードマップや多言語対応の災害情報提供アプリの紹介等を行っている。備蓄食料には*ハラル認証取得のアルファ化米や、豚肉未使用のアレルギー対応スープを採用し、宗教的な対応もしている。今後も一層の充実に努め、地域住民と外国人実習生と一緒に参加する防災訓練が拡がるよう、周知と理解の促進に取り組んでいく。

根室市としての国際交流のあり方は?

問

国際姉妹都市米国シトカ市との交流が7年ぶりに再開されたが、そもそも「交流」とは、人が行き来するという意味合いだけには留まらないものと考える。将来的なことも合わせて、市としてのシトカ市等との国際交流のあり方について伺う。

答

本年10月に「根室市国際姉妹都市交流推進員」をシトカ市に派遣し、今後の交流のあり方を調査した他、2年後の提携50周年記念事業への互いの認識を確認した。今後、様々な交流を通じて国際姉妹都市への理解促進に努め、これからを生きる青少年に必要な広い視野と豊かな人間性を育むなど、人材の育成に寄与していきたい。

次の社会教育計画の策定をどのように進めるのか?

問

コロナ禍など大きく社会が変容し、社会教育に求められることが幅広くなってしまっており、前例踏襲的に成果指標を設けることが相応しいのか。*ピアサポートな

ど重要な事業に取り組んでいるが、次期計画の策定をどのような考え方のもとに進めていくのか。

答

【教育長】予測困難な時代を踏まえ、社会教育の方向性を示す必要がある。現段階では、地域や家庭とともに学び支え合う社会の実現に資するものにするため、来年2月に専門家を招聘し、「社会教育とまちづくり」をテーマとした研修会を開催し、共通理解を深め、策定に向かう機会づくりにしたい。成果指標は、新たな教育振興基本計画を参考に設定を検討していきたい。

一般質問

日本共産党根室市議会議員団



鈴木 一彦 議員

根室市公共施設グランドデザイン構想(案)における小・中学校のあり方について

問

市長は、市街地における小・中学校のあり方について、基本的に3つの小学校、2つの中学校を維持するとの考え方であると認識していたが、この度のグランドデザイン構想案では2小学校と2中学校(もしくは2義務教育学校)が示されている。現在の市街地3小学校を、将来的に2小学校(もしくは2義務教育学校)に変更することについて、市長の見解を伺う。

答

学校は教育施設であるだけではなく、地域コミュニティの核としての性格や防災拠点など、様々な機能を併せ持つものであり、また、学校の統廃合は、教職員とその家族の減少や生徒の進路意識の変化など、人口への影響はもとより、配置場所によっては都市機能の考え方にも影響が生じるなど、まちづくりの観点からも重要な課題である。その一方で、25年先を見据えた長期展望に立つと、グランドデザインを構想する中でも検討中であるが、市街地3小学校の児童数は約780人から280人余りへと6割以上の減少が見込まれていることから、少なくとも市街地の東西にそれぞれ学校を維持したいと考えてお

*ハラル認証：商品・サービスがイスラム法に則って生産・提供されたものであることをハラル認証機関が監査し、一定の基準を満たしていると認める。

*ピアサポート：同じような立場や課題に直面する人同士がお互いに支え合うこと。

り、加えて、学校校舎の老朽化の実情に鑑みると速やかな環境整備も大変重要である。いずれにしても、直ちに小学校2校に統合する考えはなく、次代を担う子どもたちの教育は未来への投資であり、すべての学校を維持したいとの考え方方に変わりはないが、長期にわたる将来を展望する中にあっては、今後の適正配置の議論を踏まえつつ、将来人口をはじめ本市を取り巻く諸情勢を勘案しながら、

教育委員会と方向性を調整し、引き続き協議していく。

意見 この度のグランドデザイン構想案で示されたものが、市民の皆さんの中で「計画」として"独り歩き"することを懸念している。構想案は、今後変更される可能性が十分あり得るものであるということを申し上げておきたい。

12月定例月議会の会議日程及び質疑内容等

12月定例月議会 令和5年12月12日(火)～12月15日(金)《4日間》

■12月定例月議会において全会一致で当選、可決された議案、意見書等

議案	選挙	根室市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について
	条例	根室市手数料条例の一部を改正する条例
		根室市立学校条例の一部を改正する条例
		根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	条例	根室市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
		根室市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
		一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例〔追加議案〕
		根室市議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例〔追加議案〕
		令和5年度根室市一般会計補正予算(第6号)
		令和5年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算(第1号)
		令和5年度根室市農業用水事業特別会計補正予算(第4号)
		令和5年度根室市介護保険特別会計事業勘定補正予算(第2号)
		令和5年度根室市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
		令和5年度根室市港湾整備事業会計補正予算(第2号)
		令和5年度根室市水道事業会計補正予算(第4号)
		令和5年度根室市下水道事業会計補正予算(第1号)
	予算関係	令和5年度根室市病院事業会計補正予算(第2号)
		令和5年度根室市一般会計補正予算(第7号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算(第2号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市介護保険特別会計事業勘定補正予算(第3号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市港湾整備事業会計補正予算(第3号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市水道事業会計補正予算(第5号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市下水道事業会計補正予算(第2号)〔追加議案〕
		令和5年度根室市病院事業会計補正予算(第3号)〔追加議案〕
	意見書案	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

■12月定例月議会において賛成多数で可決された議案・意見書

〔○：賛成、×：反対、－：欠席(退席)〕

議件名・意見書		創新	市政	大地	共産	会派袖	市民	西田	保坂
意見書案	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書	○	×	○	×	×	○	○	×
	食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	×

■12月定例月議会において報告された議件

議件名		
報告	その他	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）

○主な議案・質疑の内容

●総務経済常任委員会（審査件数：3件）

「根室市手数料条例の一部を改正する条例」

- ・戸籍（除籍）証明書の広域交付に係る全国的な開始時期及び具体的な手続きについて
- ・法律改正に伴う建築物の再生可能エネルギー利用促進区域設定の考え方について

「一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例」

- ・定年前再任用短時間勤務職員とそれ以外の職員における改定割合の差異に係る国の考え方について
- ・会計年度任用職員に係る勤務時間別の人員及び期末手当の支給要件、勤勉手当支給に対する考え方と見通しについて

●文教厚生常任委員会（審査件数：4件）

「根室市立学校条例の一部を改正する条例」

- ・義務教育学校化に向けた方針と今後の整備スケジュール等について
- ・コミュニティスクールの概要及び設置状況並びに事業実績等について

「根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

- ・本条例に出産被保険者に係る届出を省略させることができると規定する理由と運用方法等について
- ・保険税賦課期日前後における保険税減額申請に係る運用等について

「根室市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例」

- ・スマホ用電子証明書搭載サービスの手続きに係る利用者に対するサポート等について
- ・高齢者のデジタルデバイド問題に対する市の考え方、対応等について

「根室市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

- ・本条例改正の根拠となる国の法律等の概要と改正理由について
- ・本制度の周知状況と関係施設との連携について

●予算審査特別委員会（審査件数：17件）

「令和5年度根室市一般会計補正予算（第6号）」

- ・ふるさと納税推進事業に係る制度改革への具体的な対応手法・時期及び費目別割合と予算措置等について
- ・市内を含めたホタテガイ消費拡大に係る施策展開のあり方と財源に対する考え方について
- ・時間外勤務手当の増額及び会計年度任用職員の増員に係る要因と内容について

「令和5年度根室市病院事業会計補正予算（第2号）」

- ・入院病床の一部休床に伴う診療への影響等について
- ・医療従事者の確保に係る各種制度周知及び市民理解の促進に向けた取り組み等について

「令和5年度根室市一般会計補正予算（第7号）」

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に係る各施策に対する充当及び追加交付分の活用にあたっての考え方等について
- ・エネルギー・食料品等価格高騰重点支援の展開等に係る基本的な考え方について
- ・根室市水産物消費喚起等支援事業に係る各種イベントの展開内容等について

令和5年度 主な議会活動・委員会活動

【総務経済常任委員会】

●開催日：令和5年11月28日(火)

- (1) 根室市地域防災計画について
- (2) 根室市公共施設グランドデザイン構想(案)について
- (3) 今後の委員会活動について

災害対策基本法の一部改正や防災基本計画等の修正を踏まえ、「根室市地域防災計画」においても所要の修正を行ったことから、その経過、内容等について担当課から説明を受け、避難路や避難所等に関する市民周知や津波災害警戒区域の修正内容等について意見交換を行いました。また、今後策定予定の「根室市公共施設グランドデザイン構想(案)」に係るこれまでの策定経過、概要、今後のスケジュール等について担当課から説明を受け、各公共施設の個別計画との整合性や資材高騰を踏まえた建築費用の見込みなどについて意見交換を行いました。

市長部局との意見交換後、今後の委員会活動として取り組むべきテーマ等について、委員間協議を行いました。



【文教厚生常任委員会】

●開催日：令和5年12月14日(木)

- (1) 学力向上対策について
- (2) 総合体育会館建設市民委員会における検討状況について

全国学力・学習状況調査の結果や学力向上対策について、市教委から説明を受け、根室市の子どもたちの学力の現状や将来的な学力向上の方針などについて、意見交換を行いました。また、根室市総合体育会館建設の検討にあたり、市民委員会においてこれまで協議してきた内容等について市教委から説明を受け、基本構想(案)や今後のスケジュール等について意見交換を行いました。

【北方領土・水産対策特別委員会】

●開催日：令和5年11月24日(金)

千島歯舞諸島居住者連盟根室支部(元島民等)との懇談、意見交換

千島歯舞諸島居住者連盟根室支部の元島民や後継者の方々と「北方領土返還要求運動に関する課題」や「今後の返還要求運動の担い手となる後継者の育成及び支援」等をテーマとして意見交換を行いました。

意見交換では、元島民や後継者から「国の問題である北方領土問題について、国民全体にもっと情報提供し、世論を盛り上げていくべき。」「千島連盟への加入を促進してほしい。」「北方領土返還要求キャラバン隊に参加しやすい環境を整えてもらいたい。」などの意見が出されました。このほか、「北方四島交流等事業使用船舶えとぴりか号」の有効活用や、元島民3世、4世も返還運動に一緒に参加してもらえる仕組みづくり、後継者支援策の北方領土対策協会の融資制度の取り組みや課題等についても、情報を共有し共通認識が持てるよう、活発な議論を行いました。



【議会ICT推進検討委員会】

●開催日：令和5年11月10日(金)

- (1) 根室市のICTへの取り組み状況について
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) ICTの利用状況等に関する調査について(各議員に対するアンケート)

第3次根室市地域情報化計画を基本として、市のICTへの取り組み状況やSNSの活用状況、新庁舎における新たな取り組みなどについて担当課から説明を受け、システム標準化の進捗状況、LINEの利用、ペーパーレス化等について意見交換を行いました。その後、議会ICT推進の今後の検討スケジュールや利用状況調査等について、委員間協議を行いました。

●開催日：令和5年12月19日(火)

- (1) 議会におけるICTへの取り組み状況について
- (2) ICTの利用状況等に関する調査結果について
- (3) 根室市議会議員のICT利用状況等に関する調査について(アンケート結果)

道内34市のICT推進状況や根室市議会におけるICT活用状況、各議員の利用状況等について、議会事務局から説明を受け、タブレット端末の導入状況と利用範囲、YouTubeやLINEWORKSなどSNSツールの活用、今後の検討スケジュール等について委員間協議を行いました。

・北方領土返還要求中央アピール行動に参加しました

北方領土返還要求中央アピール行動は、北方領土問題の早期解決と国民意識の高揚を図るため、毎年12月1日に東京都において実施しています。

今回で16回目の「中央アピール行進」では、日比谷公園での出発式において、根室管内1市4町で組織する「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会会長」の石垣根室市長があいさつをした後、択捉島出身の鈴木咲子さんが返還要求運動の決意表明を行い、出発式後に日比谷音楽堂から鍛冶橋付近までの約1.6kmを約500人で行進しました。

行進には元島民をはじめ、国会議員、北海道知事、北海道議会議員や根室管内の首長、姉妹都市の黒部市長、市議会議員も多数参加し、北方領土返還運動の小旗を振りながら「北方領土を返せ」などシュプレヒコールを上げ、北方領土問題の早期解決を訴えました。

また、「中央アピール行進」後には、根室管内の首長・議長が首相官邸を訪問し、官房長官に北方墓参の早期再開を訴えました。



根室市議会からのお知らせ

●今後の議会開催

▶ 2月定例月議会

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市のホームページでお知らせいたします。

●本会議・委員会の傍聴について

= 根室市議会は市役所3階です =

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

●市議会ホームページとフェイスブックページのご案内

根室市議会は「市民に開かれた議会」を目指す議会改革の取り組みとして、市議会ホームページ、フェイスブックページを開設し、市議会のさまざまな活動などを積極的に発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

■市議会ホームページ

根室市議会

検索



■フェイスブックページ <https://www.facebook.com/nemuro.shigikai>



■ホームページ

■フェイスブックページ

議員の質問・質疑

議員の質問は、定例月議会ごとに議員個々が行政全般について質疑する一般質問と、市政方針が示される3月定例月議会と所信表明が行われる市長選後初議会で、主に政策について各会派の代表が行う代表質問のほか、上程された議案など付託された議案を審査する各常任委員会、当初予算や決算審査を行う特別委員会、必要に応じて行われる議員協議会の場などで行われています。

原則、持ち時間制が採られ、代表質問は45分、一般質問は30分（代表質問がある場合は25分）で、いずれも答弁を除いて質問をすることができます。また、予算や決算を審査する特別委員会や補正予算は50分（答弁含む）が持ち時間ですが、常任委員会等で行われる条例案などの審査は、時間制限がありません。

この様に、多くの発言機会のなかで、まちづくりや市政推進、地域課題に対する質疑や地方自治法に基づくチェック機能を果たしながら審査を行い、市民の声が市政全般に活かせるよう活動しています。